



TIAニュース

やあ!

1995
SEPTEMBER 9
No.39

特集

技術研修で人材育成 外国人研修制度

TOPICS

- ◇ 国際交流学校訪問
- ◇ あんな店こんな店
- ◇ 国際交流団体紹介
- ◇ TIA INF.

ヴォークリユース県からホストファミリーが来県
平成7年度浙江省友好交流員が出發
矢板中央高校サッカークラブ
タイ料理の店「メナム」
佐野市国際交流協会
とちぎインターナショナルフェスティバル'95開催



▲栃木市の下野国庁跡に復元された「前殿」

市町村文化財紹介 栃木市

史跡 下野国庁跡

国庁とは、律令時代（奈良・平安時代）における下野国統治の中核として設置された役所である。この場所は、国司等が政務や儀式を行うための中心となっていた。

栃木市にある下野国庁とその周辺の役所群を含む史跡指定地は、約25,000㎡である。

史跡の整備は、今から1,200年前の下野国庁を実感してもらうため、役人が儀式を行うための施設である「前殿」（東西24.9m、南北8.3m、高さ6.3m）を原寸復元し、また役人が政務を行った「東脇殿」「西脇殿」柵及び堀の生け垣を造った。

An Introduction to Municipal Cultural Treasures: Tochigi City

The Shimotsuke Domain Kokucho Historical Preserve

ZENDEN: A structure being restored within the Tochigi City Shimotsuke Domain Kokucho Historical Preserve.

The Kokucho (lit. state administrative building) was established during the Ritsuryo era (Nara and Heian periods) as the administrative center of the imperial rule of the Shimotsuke domain (modern Tochigi prefecture). Provincial governors used the kokucho to conduct state rites and attend to official affairs.

The designated historical preservation site which includes the kokucho and surrounding lands is 25,000㎡.

Maintenance of the historical preservation site consists of the following two

efforts. First, in order to recreate the Shimotsuke Domain Kokucho as it was 1,200 years ago, the zenden structure, a facility where officials conducted state rites, is being fully restored. Second, a trimmed hedge wall is being made alongside the east and west wakiden structures where officials attended to state affairs.

ようこそとちぎへ

welcome to Tochigi

ウィパー・ピパタナウォンさん (33歳・タイ出身)



ウィパー・ピパタナウォンさんは、タイのバンコク出身。タイ語への翻訳等でT I Aの事業に協力してくれている。

T I Aが在県外国人のネットワークのために組織した「とちぎコミュニケーションネットワーク」に登録しているウィパー

ウィパーさんのご主人は宇都宮大学農学部の留学生。その関係で3年前に来県した。現在4歳になる息子さんと3人で宇都宮で暮らしている。「午前中日本語や日本文化の勉強、午後は食品工場で働いています。今特に興味があるのは生け花で、先生に教わっています。私は大学(農学部)で花の勉強をしていましたので、花が大好きなんです。それでぜひ日本の文化である生け花をやりたいと思いました。実際、生け花はタイでも人気があるんですよ」と話す。生け花を習いたいとT I Aに来たウィパーさんに、国際交流ボランティアバンクに登録している福田静江さんが教えてあげるようになった。熱心なウィパーさんは難しい生け花用語を忘れないようにノートに書き留め、予習や復習を怠らないそうだ。福田さんも彼女のセンスの良さと真面目さに感心している。

ウィパーさんの家庭では主にタイ料理を食べているが、日本料理にも興味があるの

で学んでいるという。日本料理講習会に参加することもあるそうだ。いろいろな日本文化にチャレンジして帰国したいと思っている。

「月に一度、タイ人の友だちとパーティーをやります。先日は、勉強した生け花をみんなの前で披露しました。あと2年で帰国ですがそれまで生け花は続けるつもりです。そしてタイに戻ってからは生け花を他の人に教えたいと思っています」と素敵な笑顔で話してくれた。



▲福田先生(左)から生け花を教わるウィパーさん

トピックス TOPICS

フランス・ヴォークリューズ県から10名が来県

今年で3年目になる「フランス・ヴォークリューズ県ホストファミリー受入事業」は、栃木県からヴォークリューズ県に派遣される「婦人の翼」や「青年の翼」等の各種訪問団のホームステイに協力している「プロヴァンス・ジャポン協会」のメンバ



▲知事を表敬訪問するフランス・ヴォークリューズ県のプロヴァンス・ジャポン協会のメンバー10名



▲歓迎会で日本のホストファミリーと再会

一を栃木県に招待するものである。

今回は、46歳から76歳までの10名が8月21日～8月30日の10日間来県した。一行は知事表敬訪問をはじめ、日光及び東京視察、そして烏山町で日本酒工場や和紙製作所の伝統産業見学を行った。

また、3泊4日のホームステイ・プログラムでは、以前に彼らに受け入れてもらった「婦人の翼」のメンバーが今度はホストファミリーとなり、それぞれもてなした。久しぶりの再会にお互い感激し、短い期間であったが交流を深め、楽しいひとときを過ごした。

栃木県滞在の感想は「皆さんがこんなにも温かく迎えてくれて感激している。これから両県の友好の絆を深めていきたい」と全員が満足の様子。初めての日本訪問に、それぞれが素敵な思い出を胸に抱いて帰国した。

平成7年度「浙江省友好交流員」が出発



栃木県が昨年度から派遣を始めた「浙江省友好交流員」は、栃木県と友好交流を行っている中国浙江省で6か月間研修し、帰国後その経験を活かし、地域の国際交流活動に寄与してもらうことを目的としている。

去る5月に行われた選考試験で、13名の応募者の中から鹿沼市の藤田りかさん(27歳・写真右)と佐野市の増田英治さん(23歳・写真左)の2名が平成7年度「浙江省友好交流員」に選ばれた。増田さんは過去に2度中国に留学したり、地元の佐野市国際交流協会でお手伝いするなど積極的な活動をしている。今回の留学では中国語はもちろん、更に中国文化について勉強する予定だ。一方留学は初めてという藤田さんは、現地での生活を通して生の中国語を学び、以前に習ったことがある「太極拳」にも挑戦したいと意欲満々である。

9月3日に浙江省に発ったふたりは、来年の2月までの6か月間、浙江大学国際学術・文化交流センターの漢語学科で中国語をメインに各種研修を行う。

JETコーナー

外国語指導助手

ランディ・スミスさん

(23歳・アメリカ出身)



私はランディ・スミスです。JETプログラムに参加し、2年目に入ったばかりです。今年は宇都宮北高校でALTとして

仕事をしています。去年は、同じ仕事で白楊高校と塩谷高校で教えていました。

私の出身はアメリカ・ルイジアナ州のシュリーブポートです。ルイジアナ州はアメリカ南部で、東の境界はミシシッピー川、西はテキサス州に面し、南にはメキシコ湾があります。ルイジアナ州で一番有名な都市はやはりニューオーリンズでしょうか。新

鮮でおいしいシーフードや「Mardi Gras (マルディ・グラ)」という世界最大級のお祭りやジャズ発祥の地として有名です。ルイジアナでは、「タバスコ」も作っています。

この1年間、日本ででの生活はとても充実したものであり、2年目も期待しているところです。日本の自然の美しさや親切な人々、そして新しいものを受け入れながらも伝統文化を尊重するところが私は大好きです。嫌いなことは、たびたび起こる地震です。日常生活のなかで、新しい挑戦と驚きの連続です。だから、日本の生活は刺激的でおもしろいわけです。

私は教師(教える者)として日本に来ましたが、私が一番いろいろな体験から学んでいるのではないかと考えています。

○ ○ ○

My name is Randy Smith, and I am beginning my second year as a participant of the Japanese Exchange and Teaching (JET) Programme. I work as an Assistant English Teacher at Utsunomiya Kita High School. Last year, I also taught at Hakuyo High School in Utsunomiya and Shioya High School. I

am from Shreveport, Louisiana in the United States. Louisiana is in the southern part of the United States and borders the Mississippi River to the east, Texas to the west, and opens to the Gulf of Mexico to the south. The most famous city in Louisiana is probably New Orleans. New Orleans is well-known for having delicious fresh seafood, one of the world's largest festivals called Mardi Gras, and as the birthplace of jazz music. Louisiana is also where Tobasco pepper sauce is made.

I have enjoyed my first year of living in Japan very much, and I am looking forward to my second. The things I like best about Japan are the natural beauty, kind people, and its ability to respect traditional culture while accepting modern ways. The thing I like least is its frequent earthquakes. Everyday of my life in Japan is filled with new challenges and surprises. Therefore, I find my life in Japan to be exciting and interesting. Although I came to Japan as a teacher, often I think it is I who is learning the most from the experience.

国際交流 学校訪問

矢板中央高等学校 サッカー部

矢板中央高等学校サッカー部(部長:國井利昭教諭、監督:高橋健二教諭)の1年生23名が、7月19日~8月8日の日程で日伯サッカー親善大会に参加するためブラジルを訪問した。日本ブラジル修好100周年記念事業として開催されたこの大会に、日本からは矢板中央高校他5校が、また世界からはアルゼンチン、チリ、コロンビア、アメリカ、ドイツの16歳の若者たちが招待された。矢板中央高校の訪伯は、サンパウロ

▶サンパウロ市国際大会の開会式



州アチバイア市でサッカー留学生のためのスポーツ教育センターを運営している中沢氏の紹介によって実現した。

同校はまず7月21日からサンベルナンド・ド・カンポ市国際大会予選に出場した。成績はサントス、サントアンドレの各チームに残念ながら敗退し予選落ちした。その後、イトゥー市に移動しプロチーム「イトゥアノ」に技術指導を受けた。フィジカル・コーチのルフィーノ氏は、今年の9月から1~2か月の予定で同校を訪れ、サッカー部の指導を行うことになっている。また、イトゥー市の高校生サッカーチームから2名の高校生が、ルフィーノ氏と一緒に来日し、同校のサッカー部員宅でホームステイを行う予定だ。

7月30日からはパウリーニャ市の国際大

会及び日伯大会に出場し、国際大会では良い成績を出せなかったが、日伯大会では見事4位に入賞した。

初の海外遠征を行った高橋監督は「ブラジル人のサッカーに対する姿勢を見てプラスになった。今後の指導に活かしたい。そしてこれからもブラジルとの交流を深めていきたい」と、また部員の森大介さんは「試合ではレベルの差を感じたが、精神的に強くなった。またブラジルに行きたい」と語った。

なお、矢板中央高校ではブラジルへのサッカー長期・短期留学生派遣を行う。留学先は上記の「中沢スポーツ教育センター」で、対象は現在中学3年生の生徒。詳しくは矢板中央高校☎0287-43-0447までご連絡をどうぞ。



◀ブラジルチーム「デイトウリア」と一緒に記念撮影

特集

技術研修で人材育成

外国人 研修制度



▲中国から技術を学びに来た研修生（鹿沼市木工団地内・株式会社ハーティスにおいて）

外国人研修制度は、研修生が日本の企業等で実務を通して研修を行い、習得した技術や知識を母国で活用し産業の振興に役立てることを目的としている。

社会経済発展の担い手となる人材の育成に協力するこの外国人研修制度について今回は特集する。

◆非実務研修と実務研修

外国人研修とは、入管法で「本邦の公私の機関により受け入れられて行う技術、技能または知識を修得する活動」と定められており、内容は非実務研修と実務研修に大別される。

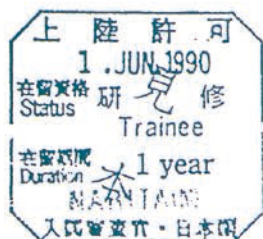
非実務研修とは、研修の初期に行われる日本語研修、実務研修に必要な技術等の基本原理・技術等の研修、安全衛生教育、また実務の現場以外で行う試作品の作製、模擬販売等の研修を指す。一方実務研修は、実地において行う研修で、生産現場で実際に生産に従事しながら、あるいは実際に販売やサービス業に携わりながら技術や知識を修得する研修のことである。

◆研修生の条件

研修生に必要な条件として、(1)単純作業ではないこと、(2)18歳以上で、研修終了後母国に帰り、前の職場に復職が約束されていること、(3)現在の技術、技能のレベルを向上させるには日本で研修を受けることが必要であることがあげられる。なお、中小企業団体等による受入れの場合には、更に(4)研修生が現地国の国またはそれに準ずる機関から推薦を受けていること、(5)原則として日本で受ける研修と同様の業務に従事した経験を有することが必要である。

◆在留資格は「研修」

外国人が研修生として入国するためにはまず在外公館であらかじめ査証（ビザ）を取得しなければならない（査証の種類は「研修」）。そして、日本に上陸するときに入国審査官から在留資格「研修」という上陸許可の認証を得て初めて入国できる。この「研修」の在留資格で行える活動は、研修受入れ先において技術、技能または知識の修得をする活動であり、収入を得るために働く「就労」ではない。



◆研修生受入れのパターン

民間企業が実務研修を行う場合、研修生の受入れは大きく3つの形態に分かれる。

- (1)海外関連企業から受け入れる場合
 - ①海外の現地法人・合弁企業（出資比率20%以上）の常勤職員
 - ②海外の取引先企業（相当額の取引実績）の常勤職員
 - ③外国の公務員、中央銀行職員、国際機

関職員等

(2)海外に関連企業がない場合

海外に(1)のような関連企業がない場合は次の団体を通じてのみ受入れが可能。

- ①中小企業3団体（商工会議所、商工会、中小企業組合）
 - ②職業訓練法人
 - ③農業協同組合
 - ④公益法人
- (3)財国際研修協力機構（JITCO）の推薦を受けた場合

上記(1)(2)以外に、JITCOの賛助会員であって、JITCOが推薦した場合には下記の条件に基づき受入れが可能。

- ①企業が個別に受け入れる場合
 - ・送り出し側企業と「業務提携」「技術提携」等の関係にあり、JITCOの指導・支援を受けられる体制が整っている場合
- ②団体等を通じて受け入れる場合
 - ・研修の公益性が認められる場合（公的機関からの援助・指導またはJITCOの指導等）
 - ・外国政府との合意または外国政府からの要請がある場合等

◆受入れ人数枠と研修期間

受入れ可能な研修生数は、原則として受入れ企業の常勤職員の5%以内だが、中小企

業3団体等の受入れで特例がある。

研修期間は原則として1年で、実務研修の場合でも一定割合以上の時間を非実務研修に当てなくてはならない。

◆受入れの整備と研修計画

研修生を受け入れるためには、研修指導員及び生活指導員の配置、宿舎の準備、研修施設の確保、傷害保険への加入、安全衛生措置を整備しなくてはならない。また、団体等が受け入れる場合は、国、地方公共団体から資金その他の援助、及び指導を受けなくてはならない。

また、もっとも肝心な研修計画は、入国時の研修生の技能レベルを終了時にどこまで引き上げるか考慮し、「人材育成」の視点に立って作成しなければならない。研修生の受入れ準備段階の入管手続きでは、「研修計画書」「研修計画予定表」が特に重要な書類として位置づけられている。

◆技能実習制度について

技能実習制度は、研修を受けた機関（企業）と同一の機関（企業）において、研修終了後「雇用関係」の下で、技術の習熟度を高めることを目的として実習するもので、研修成果及び在留状況の評価を受け、一定水準以上の技能を修得したと認められた者が対象となる。この際、在留資格は「研修」から「特定活動」に変更される。滞在期間は、研修・技能実習合わせて2年以内となっている。

この技能実習制度の実施に当たっては、JITCOがその中核的機関となっている。

(財)国際研修協力機構 (JITCO) 宇都宮駐在事務所



◀JITCO宇都宮駐在事務所

(財)国際研修協力機構 (JITCO) は外国人研修生制度の拡大・発展を図るために、外国人研修生の受入れを行う団体・企業に対して総合的な支援・サービスを行うことを目的として1991年9月に設立された。なお、1993年4月から創設された「技能実習制度」の実施に当たっては最も重要な役割を担っている。宇都宮駐在事務所が設けられたのも1993年の4月である。

企業や団体が外国人研修生を受け入れようとする場合、研修計画の作成、保険加入など種々の準備と、入国手続き書類の作成や複雑な作業が必要である。JITCOは受入れを計画している企業・団体の相談に応じ、具体的に助言や支援を行っている。また、技能実習制度の実施に当たっては、実習生関連情報の提供・斡旋、研修成果や在留状況等の評価、研修・実習状況の把握・指導、実習生の帰国指導など一貫して技能実習の実施に関与している。

JITCO (宇都宮駐在事務所) へのご連絡は、〒320 宇都宮市本町4-15宇都宮NIビル5階、☎0286-27-6970まで。

◆栃木県内の研修生状況

現在栃木県内には約600名の研修生がいる。受入れパターンとしては「企業が団体等を通じて受け入れる場合」がほとんどで、県内の各商工会議所、商工会、中小企業団体が受入団体となっている。その他、独自で研修生を受け入れている企業も数社ある。業種では製造業が多数を占めている。

研修生の国籍では圧倒的に中国が多いが、インドネシア、フィリピン、タイ等の東南アジアからも受け入れている実績がある。

研修を終了し、技能実習を行っている者は約70名、またこれから技能実習に移行しようとしている者も約140名を数える。

(1995年6月30日現在、JITCO宇都宮駐在事務所調べ)。

◆自治体が招聘する研修生

以上、民間企業の研修生受入れについて説明してきたが、この他に都道府県や市町村の自治体が研修生を受け入れる場合がある。例えば栃木県は国際協力推進事業の一環として、昭和50年(1975年)以来毎年、アジア・アフリカ・中南米等の開発途上国から「海外技術研修員」を受け入れ、県内の企業・試験研究機関で研修させている。平成7年までの受入人員は、25カ国202名にのぼる。

外国人研修生受入企業訪問・株式会社ハーティス (鹿沼市茂呂)

株式会社ハーティス(ユニットドアの製作)は、鹿沼市木工団地共同組合を通じて中国からの研修生を現在9名受け入れ、研修、指導等を行っている。非実務研修(日本語、日本文化及び日本の生活全般理解のための研修)は、共同組合が他の会社が受け入れた研修生と一緒に実施したそうだ。

中国・黒龍江省出身の研修生の姜軍さん(32歳・下写真)は、去年12月に日本の進んだ技術を学びたいということで来日した。中国では10年前東北林業大学卒業後、附属の木材工場で技術者として従事してい



た。現在は社宅に住み、ほとんどの作業工程を研修した。研修終了後はできれば技能検定に合格して実習生となり、更に技術をマスターして国に帰りたいそうだ。今は鹿沼市での生活にも慣れ、鹿沼市国際交流協会の主催する様々なイベントにも参加しており、有意義な研修生活を送っている。

社長の上澤氏によると、同社は14、5年も前から海外に目を向け、韓国に合弁会社を設立したり、中国と技術協力をしてきたという。2年後には、中国に製材関係の合弁企業を設立し、今年の9月には現在いる研修生とは別に、中国から2名呼び寄せて、広く技術面での即戦力となりうる、技術指導人材を育成する予定だ。

業務課長の上田氏は生活指導員として、



◀(株)ハーティスの上澤社長(左)と上田課長

研修生の生活指導全般の指導と管理を担当している。また研修生の安全面を考慮しながら、実際の技術習得をさせるので、苦勞は絶えないそうだが、受入れも4年目になり慣れた上に、元中国人留学生に通訳兼生活補助員として手伝ってもらっているため、研修生とのやりとり特に困るようなことはないそうだ。これからも世界中に日本の技術が生かされるよう大いに期待する。

国際交流団体紹介

佐野市国際交流協会

本協会は、平成4年6月に設立されました。国際化が急速に進むなかで、多くの市民及び関係者の協力により行政・市民・企業・団体が一体となって国際交流を推進する中心的役割を担う団体としてスタートし、着実にその地歩を築いてきました。

特に平成4年10月、自治省から国際交流の街推進都市の指定を受け、国際性豊かな人材育成、国際化時代に対応した街づくり、急増した外国人の日常生活が便利で暮らしやすく親しみやすい街にするための諸事業を推進してきました。

最初に取り組んだ事業が、佐野に住んでいる外国人を対象としたアンケート調査（4か国語）でした。外国語表記のガイドマップ作成、日常生活に必要なハンドブック作成（2か国語）、日本語教室（参加者の言語別



◀姉妹都市ランカスター市中学生のホームステイ受入れ

～4か国語～にクラス編成)、市内施設めぐり、日本人と交流する各種イベント等…。

本年度は、姉妹都市ランカスター市交流事業（中学生ホームステイ相互受入れ、市民訪問団派遣）、市民訪中団派遣、語学教室（日本語、中国語、英会話）、国際交流フェスティバル、国際子どもキャンプ、クリスマスパーティー等を実施する予定です。

グローバル（グローバル+ローカル）時代に相応しい視点で市民に根ざした事業を目指すと共に、佐野に住んでいる外国人が国へ帰ったとき「ああ佐野はよかった。佐野は素晴らしい街だ。そこに住んでいる人も素晴らしい」と言われるように多くの外国人と共存できる佐野にしたいと願っています。（文：大室喜保子327 佐野市高砂町3061佐野市役所内☎0283-24-5111内線338）

知って得する なんでもQ&A

〔国際結婚で子供が 生まれたら？〕

Q. フィリピン人である妻は、現在妊娠中で、もうすぐ子供が生まれます。届け出や子供の国籍について教えてください。

A. まず、日本で子供が生まれた場合、出生から14日以内に出生届をする必要があります。戸籍法で、届けをすべき人が決まっております。嫡出子（法律上の婚姻関係にある男女の間に生まれた子供）については父または母となります。なお、外国人である親も届出ができます。届出先は日本人である親の本籍地または届出をしなければならない者の所在地の市区町村長になります。直接市役所（役場）に出頭して行うのが確実ですが、何らかの理由で役場などに行けない場合は届出書を郵送することもできますし、届出書を自分で記入し、代理人に届けてもらうことも可能です。

次に、国籍は、結婚の後に生まれた場合両親の一方が日本人であるかぎり、日本の国籍を取得します。ちなみに、母親が日本人であれば、正式な結婚の有無を問わず、子供は日本国籍になります。日本の国籍法は父母両系血統主義であり、国外で出生した場合も、両親の一方が日本人であるかぎり、日本の国籍を取得します。

外国料理 & 食料品 あんな店こんな店

タイ料理の店 メナム

栃木県内に外国料理の店は数多くあるが、ここ「メナム」は本格的なタイ料理の店。店内の至るところに飾られた偶像類が、タイの雰囲気をかもしだしている。

「メナム」はタイの食文化をそのまま日本に取り入れたいというオーナーの考えに基づいて、タイの精髓を極めた料理を厳選し



▲タイの雰囲気ですばらしい店内

提供している。日本の多くの外国料理店のような特別に日本人の味覚に合わせた料理にアレンジし楽しんでもらうのではなく、誰もがおいしいと共感できるタイ料理をセレクトして、メニューを作成している。一切既製品を使わず全て手作りのタイ料理は、食材、調味料も本国からの直輸入品を使用して本場の味をそのまま伝えているため、日本人はもとより多くの在日外国人からも絶賛を受けており、埼玉、福島等の近県からもお客さんが来るそうだ。

おすすめ料理といえば、タイの代表的料理「トムヤムクン」（海老のスープ）、人気料理「プーパット」（蟹と春雨とセロリの炒めもの）と「ゲンキョウワン」（グリーンカレー）、「クワイテオ」（ビーフンを使ったタイ式ラーメン）、それに「トートマンブラー」（日本のさつまあげのルーツといわれているものを唐がらしとピーナッツと酢を合わせた特製ソースにつけて食べる）だ。ランチセットは土・日・祝祭日を問わず毎日やっており、全4種類、各1,000円のお手頃価格。人気のメニューはセットの中に組み込まれているので、タイ料理は初めてという方でも手軽にオーダーができる。ほかにデザートとしてメナム特製のココナッツアイ



◀コクのある味と辛さで人気のグリーンカレー

スクリームがある。これも好評で、ほかでは味わえないものだ。

一度食べてみれば、究極のタイ料理の味わいの深さがきつとわかると思うので、ぜひ友達や家族を誘って食べにいらしてみたいかがだろうか。

▷営業時間=11:00~3:00(年始、お盆明け2日以外年中無休。ランチタイムは11:00~15:00)▷住所=宇都宮市星が丘2-9-25▷電話=0286-24-0352

情報発信 地域の国際交流案内

★第3回国際交流フェスティバル'95

▷日時=平成7年9月24日(日)10:00~15:00
▷場所=佐野市民会館とその周辺▷内容=異文化体験コーナー、無料国際電話、世界の料理、各国観光物産品即売、外国人のための相談、NGO活動紹介、フリーマーケット他▷参加料=無料▷問い合わせ=佐野市国際交流協会 ☎0283-24-5111

★UIC設立30周年記念コンサート+パーティー

英語の学習と国際交流を中心に活動している宇都宮国際交流文化協会(UIC)では設立30周年を記念して、手づくりコンサートを開催する。外国人でコンサートに参加して歌や楽器を演奏したい方はご連絡を。また、UICに興味のある方も下記の連絡先へどうぞ。▷期日=平成7年10月8日(日)13:00~16:00▷場所=宇都宮市総合コミュニティセンター▷内容=UICのメンバーによる器楽、合唱、独唱等の演奏や、外国人の方の演奏、交流パーティー▷参加料=無料▷連絡先=加藤直克 ☎0286-24-0979

★アジア学院収穫感謝の日

アジア・アフリカから農業研修生を受入れ食糧生産の基本、農村生活の改善、コミュニティづくりを教える農業指導者専門学校のアジア学院は、23回目の「収穫感謝の日」を開催する。なお、当日バザーを行うので、不用の日用品・電化製品・衣類等の寄付をお願いしている。また同時にこの準備期間、開催期間中にお手伝いして下さるボランティアも募集している。▷日時=平

成7年10月7日(土)・8日(日)10:00~16:00
▷場所=アジア学院(西那須野町槻沢442-1)▷参加自由▷問い合わせ=アジア学院 ☎0287-36-3111

★アジアの食文化を体験する夜間料理教室

アジア学院では、アジア各国の料理を作り、食体験を通して異文化の認識を深めるための「夜間料理教室」を開催する。▷期日・内容=9月22日(金)・フィリピン料理、10月27日(金)・パキスタン料理、11月24日(金)・タイ料理、12月15日(金)・インド料理▷場所=西那須野中央公民館調理室またはアジア学院食品加工室(申込みの際に確認)▷対象者=西那須野町、大田原市、黒磯市など、アジア学院近隣にお住まいの方▷定員=各教室30名▷参加費=アジア学院後援会会員500円、一般1,000円▷問い合わせ=アジア学院後援会 ☎0287-36-0936

★第10回国民文化祭・とちぎ95の国際交流イベント情報(団体名及び参加事業)

- (1)タイ「タイ王立チットラダースクール音楽クラブ」▷大竹芸祭(11/3大田原市)▷合唱祭(11/4今市市)▷閉会式・グラウンドフィナーレ(11/5宇都宮市)
- (2)シンガポール「シンガポール・チャイニーズ・オーケストラ」▷オープニングパレード(10/27黒磯市)▷開会式・オープニングフェスティバル(10/27黒磯市)▷世界楽器フェスティバル(10/28栃木市)
- (3)フランス「フルー・ドゥ・ローズ」▷オープニングパレード(10/27宇都宮市)▷開会式・オープニングフェスティバル(10/27宇都宮市)▷吹奏楽の祭典(10/28真岡市)▷大陶芸祭(10/28益子町)
- (4)中国「浙江雑技芸術団」▷オープニングパレード(10/27宇都宮市)▷開会式・オープニングフェスティバル(10/27宇都宮市)▷国際おもちゃフェスティバル(10/

29 壬生町)

- (5)ブラジル「ニルゼ・カルバーリョ・バンド」▷オープニングパレード(10/27足利市)▷開会式・オープニングフェスティバル(10/27足利市)
- (6)ニュージーランド「フロムスクラッチ」▷世界楽器フェスティバル(10/29栃木市)
- (7)在日中国人演奏家「蘇宇虹氏他3名」▷邦楽(10/29宇都宮市)
- (8)アメリカ「レイ・ブラウンオールスターズ、メイドンボイジ・オールウーマンオーケストラ」▷国際ジャズフェスティバル(11/2・3足利市)
- (9)中国「唐小玲氏」▷オーケストラの祭典(10/29宇都宮市)

TIA日誌

1995年8月1日~1995年9月30日

- 7/31~8/3 県費留学生県外視察研修
- 8/2 第II期日本語講座開講(自治会館)
- 8/5 県費留学生・海外技術研修員、宮まつり参加
- 8/6 国連英検第2次試験(宇都宮市)
- 8/9 「とちぎインターナショナルフェスティバル'95」第1回運営委員会(自治会館)
- 8/19~20 第6回子どもフェスティバル(栃木県子ども総合科学館)
- 8/21~30 仏国ヴォークリューズ県ホストファミリー来県
- 8/25~27 県費留学生・海外技術研修員・国際交流キャンピングinばとう参加(馬頭町)
- 9/5 国連中学生作文コンテスト審査会(自治会館)
- 9/18~19 海外技術研修員県内視察研修
- 9/19 浙江省人民対外友好協会訪日団TIA表敬訪問

✈ 宇都宮 ↔ 成田空港

(直通高速バス マロニエ号)

空港ターミナル出発ロビーへ2時間50分!

	成田空港ゆき		宇都宮ゆき	
	宇都宮発	成田空港着	成田空港発	宇都宮着
●運賃・片道				
大人 4,000円	5:10	8:00	8:30	11:20
小人 2,000円	6:10	9:00	14:40	17:30
●15名様以上団体割引	8:30	11:20	15:40	18:30
	10:10	13:00	17:00	19:50
	12:00	14:50	18:10	21:00
●お問合せ・ご予約は	14:00	16:50	19:40	22:30

マロニエ予約センター ☎(0286)38-1730 または関東バス各営業所へ 関東バス

優雅な時間への、おもてなし。

四季の変化を、華やかに映す二万坪の大庭園。
季節の花に彩られた館内。
古き良き伝統を受け継ぐ、宇都宮グランドホテルは、
優雅な時をお客さまへ贈ります。
思い出深いひとときを過ごされますよう、
笑顔と温かいおもてなしを添えてお迎えいたします。




UTSUNOMIYA GRAND HOTEL
宇都宮グランドホテル
宇都宮市西原町142 TEL 0286-35-2111

★とちぎ国際フェスティバル'95

今年で6回目を迎え、すっかりお馴染みとなった「とちぎ国際フェスティバル」。外国人と県民が集う祭典にご家族連れでお気軽どうぞ。▷日時=平成7年11月23日(木) 勤労感謝の日 10:00~15:00 (雨天の時は11月26日(日)に延期) ▷場所=宇都宮市あけぼの公園 ▷内容=外国民芸・物産展示販売、世界の料理試食、世界民族芸能、マーチング演奏、日本文化紹介他▷問い合わせ=TIA ☎0286-21-0777

★国際協力のためのシンポジウムを開催

▷日時=平成7年11月10日(金)13:30~15:30
△場所=宇都宮市内(未定) ▷内容=「あなたもできる国際協力」(基調講演、パネルディスカッション) ▷問い合わせ=TIA ☎0286-21-0777

★外国人のための精神保健相談を開始

外国人の精神保健相談の増加に対応するため、栃木県精神保健センターの協力により、専門家による相談を行う。▷日時=毎月第1・3火曜日13:30~16:00▷場所=TIA研修室▷対応言語=日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語・中国語・ペルシャ語 ※面接相談のため希望者は予約が必要。▷予約先=TIA相談員・林または石川まで ☎0286-27-3399

★国連英語検定試験

▷試験日=第1次試験…平成7年11月12日(日)、第2次試験…平成8年1月21日(日)(特A・A・B級のみ)▷受験地=宇都宮大学峰キャンパス▷検定料=特A級6,900円、A級4,700円、B級3,600円、C級2,500円、D級1,400円、E級1,200円(消費税込み)▷申込み=申込用紙(郵便振替用紙)の申込欄に所定の事項を書き込み、郵便局で検定料を振り込む。用紙はTIAで配付

▷申込期限=平成7年10月9日(月)まで ▷試験方法=第1次試験…特A級、A級、B級は筆記試験のみ。試験時間は120分。第2次試験…外国人インタビューとフリートキング。C級、D級、E級は筆記試験と一部ヒアリング。C級、D級は90分、E級は80分。

~'95TOCHIGI INTERNATIONAL FESTIVAL~

The International Festival that both foreign and Japanese residents can enjoy together will be held at the Akebono Park. Bring your family and have fun!

Date: Thursday, November 23, 1995 (If it rains, it will be postponed to November 26)
Time: 10:00a.m.~3:00p.m.

Place: Akebono Koen (Akebono Park = near the Utsunomiya-shi Bunka Kaikan)
Programs: Exhibits and sales of foreign folk crafts and products, taste of foreign dishes, foreign folk dances, musical performances, introduction of Japanese culture, etc...

※For more details, call T. I. A. at 0286-21-0777.

Festival Internacional de Tochigi'95

Data: 23 de Novembro de 1995 (quinta-feira) (em caso de chuva, 26 de Novembro)
Horário: 10:00~15:00horas

Local: Parque Akebono de Utsunomiya
Programa: Exposição e venda de artesanatos e produtos estrangeiros; comidas típicas; e apresentação folclórica de vários países, de banda musical e da cultura japonesa.

Informação: na TIA ☎0286-21-0777

Festival Internacional de Tochigi'95

Dia: 23 de Noviembre (jueves)
(en caso de lluvia, 26 de Noviembre)

Hora: AM10:00~PM15:00

Lugar: Parque Akebono de Utsunomiya
Contenido: Obra de arte popular extranjero, Exposición y venta de objetos expuestos, Degustación del plato mundial, Arte folclórico mundial, Banda de música, Presentación de cultura japones.

Informes: en la TIA, ☎0286-21-0777

95年栃木国際節

日期: 平成7年11月23日(四)(雨天时活动延期至11月26日星期天)

时间: 10:00~15:00

地点: 宇都宮市あけぼの公園

内容: 展示、出售外国民何工艺术品和土产、品尝世界料理、世界民族技艺、演奏进行曲、介绍日本文化等等。

联系地址: 国际交流协会 电话 (0286)21-0777

جشنواره بین المللی توچی گی ۱۹۹۵

تاریخ - ۱۱/۲۳/۱۹۹۵ - یکشنبه
موا باارن ۱۱/۲۶/۱۹۹۵ روز تغیر می کنند

محل - اوتسونومی باشی پارک آکیونو
ساعات - از ساعت ۱۰ صبح تا ساعت ۳ بعد از ظهر
مضمون - نمایش گاه هنر و کالا (فرشی می رستند)
امتحان تواراک های کشور خارج

اولوکتورا . موسیقی
معرفی کردن فرهنگی ژاپن

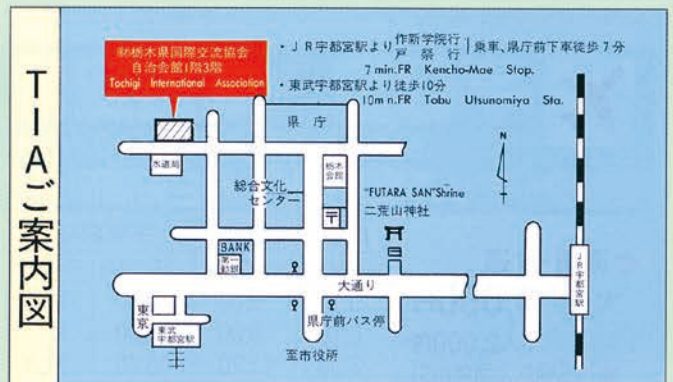
برای اشخاص که اطالات بیشتر لازم باشد تلفن
T.I.A. ۰۲۸۶-۲۱-۰۷۷۷ مخصوص استفاده نمایند

編集後記

○今回の「あんな店こんな店」の取材では、たくさんの方のタイ料理を試食させていただいた。TIAの近くにこんなおいしいタイ料理店があるとは知らなかった。行列ができる店となってもおかしくはないだろう。

○昨今のサッカーブームのなか、昨年開催されたワールドカップの優勝国「ブラジル」へ行って本場のサッカーを勉強したいという若者が増えている。矢板中央高校サッカー部の23名はその念願のブラジルへ行ってきた。言葉の壁もなんのその、サッカーという合言葉でブラジルをはじめ多くの国と交流したのだ。

※財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人(寄附金の損金算入等の課税特例措置)の認定を受けました。つきましては、当協会の事業にご賛同下さる各企業、団体、ほか皆さまからのご出捐をお願いしております。



編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320 宇都宮市昭和11-2-16 栃木県自治会館1階
TEL 0286-21-0777 (代表) 0286-27-3399 (相談専用電話)
FAX 0286-21-0951
業務時間 8:30~17:15 土曜・日曜・祝祭日・年末年始は休業